

障害者施設・旧労働施設一覧

	施設数	定員数	利用者数	従業者数	設置主体	経営主体	職員配置基準(職種、基準数)	利用形態	利用可能年齢
55 国立身体障害者リハビリテーションセンター	1	580	343	319	国	国			15歳以上
○独立行政法人 56 国立重度知的障害者総合施設のぞみ	1	550	499	310	1	1			15

〔参考資料3〕

厚生労働科学研究

障害者（児）の地域移行に関連させた身体障害・知的障害関係施設の機能の体系的なあり方に関する研究

作業施設（福祉的就労）共同研究グループ 名簿

氏名	所属
◎斎藤 公生	全国社会就労センター協議会 会長
加藤 正仁	日本知的障害者福祉協会 会長
○藤井 克徳	きょうされん 常務理事

長谷川 浅美	日本知的障害者福祉協会
阿由葉 寛	日本知的障害者福祉協会
安川 雄二	きょうされん
鈴木 清覚	全国社会就労センター協議会 副会長
星野 泰啓	全国社会就労センター協議会 制度・政策・予算対策委員長
荒井 洋	全国精神障害者社会復帰施設協会 常務理事
大友 勝	全国精神障害者地域生活支援協議会 代表

◎委員長

○作業委員長

〔参考資料4〕

執筆者一覧

はじめに	藤井 克徳	きょうされん常務理事
1	〃	
2(1)(2)	鈴木 清覚	全国社会就労センター協議会副会長／ゆたか福祉会
(3)	藤井 克徳	きょうされん常務理事
3(1)(2)	星野 泰啓	全国社会就労センター協議会 制度・政策・予算対策 委員長／よるべ沼代
(3)	安川 雄二	きょうされん／府中共同作業所
(4)	鈴木 清覚	全国社会就労センター協議会副会長／ゆたか福祉会
4(1)(3)(4)	安川 雄二	きょうされん／府中共同作業所
(2)	斎藤 公生	全国社会就労センター協議会会長／東京リハビリ協会
5	鈴木 清覚	全国社会就労センター協議会副会長／ゆたか福祉会
6	阿由葉 寛	日本知的障害者福祉協会／足利むつみ会
7	藤井 克徳	きょうされん常務理事

[参考資料5]

「厚生労働科学研究 作業施設（福祉的就労）共同研究グループ」開催状況

第1回委員会	日時	平成15年8月19日（火）10:00-13:00 全社協 5階「第4会議室」
	出席	斎藤、加藤、長谷川、阿由葉、藤井、安川、鈴木、星野、荒井、大友 （事務局：山田、古田、大村、滝沢）
	協議題	(1)作業施設（福祉的就労）共同研究グループの趣旨について (2)共同研究にかかる費用負担について (3)各団体におけるこれまでの検討状況及び体制について (4)検討のすすめ方について
資料	① 作業施設（福祉的就労）共同研究グループの趣旨について ② 厚生労働科学研究（施設体系見直し）第2回資料・議事メモ ③ 厚生労働科学研究（施設体系見直し）第3回資料・議事メモ ④ 平成15年度共同研究に関する費用負担について（案） ⑤ 今後の施設体系図（日本知的障害者福祉協会） ⑥ 社会就労センターのあり方検討委員会最終報告 ⑦ -1 障害者施設・旧労働系施設一覧整理表（成人） ⑦-2 障害者施設・旧労働系施設一覧整理表 ⑦-3 障害者施設・旧労働系施設一覧（抜粋・例示） ⑦-4 障害種別カテゴリー別整理表（案） ⑧ 旧労働系施設に対する調査項目 ⑨ 構造改革特区第3次提案関係資料（滋賀県） ⑩ （構造改革特区）各省庁からの再検討要請に対する回答 ⑪ 検討スケジュール ⑫ 調査スケジュール ⑬ きょうされん提供資料	
第2回委員会	日時	平成15年9月19日（金）10:00-13:00 全社協 5階「第2会議室」
	出席	長谷川、藤井、安川、鈴木、星野、荒井、大友、 オブザーバ：関口、小野 （事務局：大島、山田、古田、大村、滝沢）

	協議題	(1) 報告書目次案について (2) 調査について ア 旧労働系及び国立施設調査 イ 障害者就労ニーズ調査 (3) 施設一覧表の分担について (4) 今後のすすめ方について
	資料	① 第1回作業施設（福祉的就労）共同研究グループ会議議事要旨 ② 作業施設共同研究グループ報告書構成（案） ③ -1 障害者施設・旧労働系施設一覧整理表（成人） ③ -2 障害者施設・旧労働系施設一覧整理表 ③ -3 障害者施設・旧労働系施設一覧 ④ 一覧分担（案） ⑤ 旧労働系及び国立施設調査 項目案 ⑥ 障害者就労ニーズ調査案 ⑦ 障害者就職レディネス・チェックリスト（ERCD） ⑧ 障害者職業能力開発研究会報告 ⑨ 構造改革特区第3次提案関係資料（滋賀県） ⑩ スケジュール
第3回会議に向けた事前打合せ	日時	平成15年11月12日（水）9:30-11:30 全社協 4階「種別談話室」
	出席	藤井、長谷川、安川、鈴木、星野、荒井、（事務局：大島、山田、古田、大村、滝沢）
	協議題	1. 第3回会議の持ち方について (1) 3類型論について (2) 報告書骨子案の検討及び執筆分担の確認 (3) 施設一覧表について (4) 利用者ニーズ調査について (5) 今後のすすめ方について 2. その他

	資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 第2回作業施設（福祉的就労）共同研究グループ会議議事要旨 ② 3類型論について ③ 作業施設共同研究グループ報告書構成（案） ④-1 施設一覧整理表 施設一覧 ④-2 施設一覧整理表 一覧整理項目 ④-3 障害者施設・旧労働系施設一覧 ⑤ スケジュール
第3回委員会	日時	平成15年11月14日（金）10：00-13：00 尚友会館 8階「2号室」
	出席	斎藤、加藤、阿由葉、藤井、安川、鈴木、荒井、大友、 オブザーバ：関口、小野 （事務局：大島、山田、古田、大村、滝沢）
	協議題	<ul style="list-style-type: none"> 1. 協議 <ul style="list-style-type: none"> (1) レポート <ul style="list-style-type: none"> ア 日本知的障害者福祉協会 イ 全国社会就労センター協議会 ウ きょうされん エ 全国精神障害者社会復帰施設協会 オ 全国精神障害者地域生活支援協議会 (2) 協議 2. 施設一覧表について 3. 報告書構成案の検討及び執筆分担の確認 4. 利用者ニーズ調査について 5. 今後のすすめ方について
	資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 第2回作業施設（福祉的就労）共同研究グループ会議議事要旨 ② 3類型論について ③ 作業施設共同研究グループ報告書構成（第二次案） ④-1 施設一覧整理表 施設一覧 ④-2 施設一覧整理表 一覧整理項目 ④-3 障害者施設・旧労働系施設一覧 ⑤ スケジュール

意見交換会に向けた事前打合せ	日時	平成15年12月2日(火) 12:00-13:30 全社協 4階「第2会議室」
	出席	斎藤、加藤、阿由葉、藤井、安川、鈴木、荒井、大友、 オブザーバ：関口、小野 (事務局：大島、山田、古田、大村、滝沢)
	協議題	1. 意見交換会の持ち方について (1) 作業施設(福祉的就労) 2. その他
	資料	① 第3回作業施設(福祉的就労)共同研究グループ会議議事要旨 ② 作業施設共同研究グループ報告書構成(第2次案) ③-1 施設一覧整理表 施設一覧 ③-2 施設一覧整理表 一覧整理項目 ④ 「社会就労センターのあり方検討委員会最終報告」 ⑤ 「はたらく・くらす」 ⑥ 障害者職業能力開発研究会報告 ⑦ スケジュール
意見交換会	日時	平成15年12月4日(木) 13:30-16:00 全社協 5階「第1会議室」
	出席	秋山、関口、小田島、山口、小野、五十嵐、本間、 藤井、加藤、斎藤、安川、阿由葉、長谷川、鈴木、星野、大友、 (事務局：大久保、山田、古田、大村、滝沢)
	協議題	1. 作業施設(福祉的就労)体系について 2. その他
	資料	① 「社会就労センターのあり方検討委員会最終報告」 ② 知的障害者施設体系のあり方について(報告) ③ 小規模作業所に関する第二次政策提言 ④ 小規模作業所に関する第三次政策提言
第4回委員会	日時	平成16年2月6日(金) 13:00-17:00 商工会館 7階「7BC会議室」
	出席	斎藤、加藤、長谷川、阿由葉、藤井、安川、鈴木、星野、大友 オブザーバ：関口 (事務局：山田、古田、大村、滝沢)

協議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者保健福祉施策をめぐる動向について 2. 報告書案について 3. その他
資料	<ol style="list-style-type: none"> ①介護制度改革本部（第1回）資料 ②介護保険制度見直しに関する1月5日付新聞報道について ③関連新聞記事 ④作業施設共同研究グループ報告書案 ⑤-1 施設一覧整理表 施設一覧 ⑤-2 施設一覧整理表 一覧整理項目 ⑤-3 障害者施設・旧労働系施設一覧 ⑤-4 施設機能の定義（案） ⑥スケジュール

「障害者の地域移行に関連させた身体障害者・知的障害者福祉施設機能の体系的な在り方に関する研究」

分担研究報告

身体障害関係

岩谷 力

「身体障害者更生施設入所者の障害程度等に関する調査研究」

【目的】

身体障害者更生施設の入所者の実態と長期入所者の長期化の原因を検討すること。

【調査方法】

全国身体障害者更生施設長会の会員施設 95 施設に郵送法によるアンケート調査を実施した。調査内容は、(1) 施設の種別と利用者の定員と現員 (2) 職員の配置 (3) 施設利用者の主たる障害状況と身体障害者手帳等級及び障害程度区分 (4) 在所期間別にみた障害程度区分 (5) 年齢別の障害程度区分 (6) 入所申請者の平均待機期間 (7) 入退所時の障害程度区分 (8) 利用者の退所時の状況 (9) 入所期間が2年以上の入所者の数とその原因 (10) 提供している支援サービス内容 (11) 他府県からの利用者の受け入れ (12) 直面する問題 (13) 施設の方向性についての意見 (14) 平成15年4月1日から12月末日の間の退所者の退所時の状況(個別票)である(別表参照)。

【結果】

1, アンケート発送数：95施設 回収数：82通 個別票回収数：1021

2, 回答施設種別

肢体不自由施設 72施設(内2施設は視覚障害施設と併設)、視覚障害施設 9施設、聴覚・言語障害施設 1施設、内部障害施設 1施設

3, 施設の現況

1) 施設定員と現員

施設入所定員総計 5424 名、現員 4140 名(男性 3156 名、女性 984 名)、利用率 76.3%であった。肢体不自由施設は定員 4384 名、現員 3509 名、視覚障害者施設は定員 920 名、現員 524 名であった。年齢分布は 10 歳代 129 名(3.1%)、20 歳代 492 名(10.4%)、30 歳代 430 名(10.4%)、40 歳代 691 名(16.7%)、50 歳代 1450 名(35.0%)、60 歳代が 794 名(19.2%)、70 歳以上 86 名(2.1%)であり、40 歳以上が 72.3%を占めていた。

2) 通所定員と現員

通所定員総計 377+α名、現員 330 名(男性 247 名、女性 83 名)であり、肢体不自由施設は定員 342 名に対し、現員 257 名であった。

3) 障害の原因となった疾患

脳卒中 1922名、視覚障害 616名、脳性麻痺 475名 外傷性脳損傷 365名、脊髄損傷 309名（四肢麻痺 113、対麻痺 196）その他の脳神経疾患 162であった。中枢神経疾患が2934名（66.2%）を占めた。

4) 身障手帳等級と障害程度区分

利用者の身障手帳等級は1級 2262名(51.4%)、2級 1516名(34.4%)、3級 315名(7.2%)、4、5、6級 322名(7.3%)であり、障害程度区分はA 2060名、B 1393名 C 489名であった。疾患別に障害程度区分を比較すると脳卒中ではA 989名(52.5%)、B 686名(36.4%) C 209名(11.1%)、脳性麻痺ではA 295名(62.0%)、B 128名(26.9%)、C 53名(11.1%)、脊髄損傷ではA 103名(40.1%)、B 113名(44.0%)、C 41名(16.0%)であり、脳卒中に比べ脳性麻痺ではA区分対象者が、脊髄損傷ではB区分対象者が多い傾向が見られた。

5) 長期入所者の実情

入所期間は1年未満 1244名(31%)、1-2年未満 668名(17%)、2-3年未満 371名(9%)、3-4年未満 332名(8%)、4年以上 1366名(34%)であった。入所期間別に障害程度区分をみると、区分Aのものが占める割合は入所期間が1年未満では35.4%であるが、2年未満では52.7%、3年未満で62.7%、4年未満で64.9%、4年以上では66.5%を占めていた。入所期間2年以上のものが退所できない理由は本人が施設での生活を望んでいる 832、家庭での受け入れ態勢が整わない 648、他施設の受け入れ態勢が整わない 533、訓練、治療を望んでいる 290、訓練や治療が進まないため 153、地域でのサービス基盤が不十分、その他 141であった。

6) 入所待機期間 平均入所待機期間は3.54ヶ月、平均通所待機期間は0.64ヶ月であった。

7) 施設が有する支援サービス機能

下記の支援サービスを有する施設は、病院併設 30施設、常勤医師 25施設、地域への訪問サービス 14施設、家族の宿泊施設 21施設、家族への支援プログラム 23施設、通所者送迎サービス 12施設、退所後の後支援サービス 50施設であった。

8) 施設が直面する問題

施設が直面している問題は、職員の資質向上をあげた施設が53(62%)、利用者の高齢化と障害の重度化 51(60%)、施設申請者の減少 47(55%)、マンパワーの不足 42(49%)、国の設置基準ではサービス提供に限界がある 40(47%)、施設・設備の老朽化 37(44%)であった。

4. 個別票回収結果

1) 回収数 1021通

肢体不自由 967名、視覚障害 42名、聴覚・言語障害 5名、内部障害 7名

2) 性別、年齢

性別 男性 792名、女性 229名

年齢 10歳代 26名、20歳代 129名、30歳代 127名、40歳代 177名、
50歳代 327名、60歳代 155名、70歳以上 23名であった。

3) 身障手帳等級と障害程度区分

身障等級 1級 495名、2級 348名、3級 83名、4級以下 77名
障害程度区分 A 488名、B 296名、C 237名であった。

4) 退所後の生活の場

施設入所 299名(29.3%)、在宅生活 618名(60.5%)、病院入院 82名(8.0%)、その他 15名(1.5%)、死亡 7名(0.7%)であった。施設入所者のうち更生施設に入所したものは26名、生活施設入所は169名、作業施設入所は104名であった。在宅になったもののうち通所施設利用が162名、就職が70名、就職活動が49名、自営・在宅勤務が33名であった。慢性介護病棟に入院したものが42名、急性期病棟に入院したものが40名であった。

5) 退所後の利用サービス

退所に支援費制度によるサービスを利用したものは151名で、ホームヘルプサービスを利用したものが71名、デイサービス利用が56名、ショートステイ利用が21名、グループホーム利用が3名であった。

退所に介護保険の利用は265件で、その内容は訪問看護が68、福祉用具の貸与・購入費支給が48、デイサービスが45、住宅改修が43、ディケアが28件であった。

【小括】

全国の身体障害者更生施設の入所者の現況は、40歳以上が70%をしめ、原因疾患は脳卒中が最も多く、脳原疾患が全体の3分の2を占め、障害程度区分はAが過半数を占めていた。2年以上の長期入所者は全体の52%に達した。在所期間が長くなると障害程度区分Aが占める割合が高かった(66%)。入所期間長期化の原因として最も多かったのは本人の希望で、ついで家庭での受け入れ態勢が整わない、他施設への受け入れ態勢が整わないであった。

退所した1021名は在宅生活に戻ったものが60%で、他の施設に入所ものが30%であり、支援費制度や介護保険を利用するものは少なかった。

身体障害者更生施設も高齢の脳原性疾患に起因する障害者が多く入所しており、生活施設の色合いが強くなっている。



身体障害者更生施設入所者の障害程度等に関する調査票



《記入上のお願い》

- ① 本調査の結果は、統計的に処理を行い施設名がわかる形での報告や公表は致しません。
- ② 特に指定のない限り、平成16年1月1日現在の状況でお答え下さい。
- ③ 調査票記入要領を参考に御記入下さい。
- ④ なお、(別紙)個別票は人数分コピーし作成して下さい。
- ⑤ 大変恐縮ですが、平成16年2月20日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返送下さい。

【問い合わせ先】

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

国立身体障害者リハビリテーションセンター 更生訓練所長 岩谷 力

TEL 04-2995-3100

FAX 04-2992-4525

身体障害者更生施設入所者の障害程度等に関する調査

1 施設の概要についてお聞きします。

(1) 施設の種別及び人数

種 別	入所定員	現 員	通所定員	現 員
肢体不自由者更生施設	人	人 (男) (女)	人	人 (男) (女)
視覚障害者更生施設		(男) (女)		(男) (女)
聴覚・言語障害者更生施設		(男) (女)		(男) (女)
内部障害者更生施設		(男) (女)		(男) (女)

(2) 職員の配置状況

職 種 名	定 員	現 員		
		全体数	非常勤	併任
施 設 長	人	人	人	人
事 務 員				
栄 養 士				
看 護 師				
心理(職能)判定員				
生活支援員				
理学療法士				
作業療法士				
言語聴覚士				
運動療法士				
介護員(寮母等)				
職業指導員(訓練指導員)				
医 師				
調 理 員				
そ	()			
の	()			
他	()			

2 現在の施設利用者についてお聞きします。

(1) 施設利用者の主たる障害状況と身体障害者手帳等級及び障害程度区分

項目	身体障害者手帳等級							障害程度区分			
	1	2	3	4	5	6	計	A	B	C	計
脳性麻痺							人				人
脊髄性小児麻痺											
脊髄損傷Ⅰ（対麻痺）											
脊髄損傷Ⅱ（四肢麻痺）											
進行性筋萎縮性疾患											
脳血管障害											
脳挫傷											
その他脳神経疾患											
骨関節疾患（切断も含む）											
視覚障害											
聴覚・平衡機能障害											
音声・言語・そしゃく機能障害											
内部障害											
その他											

(2) 在所期間別に見た障害程度区分

在所期間		1年未満			1～2年未満			2～3年未満			3～4年未満			5年以上			計
障害程度区分		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
入所	男																人
	女																
通所	男																
	女																

(3) 年齢別に見た障害程度区分

年齢		20歳未満			20～29歳			30～39歳		
障害程度区分		A	B	C	A	B	C	A	B	C
入所	男									
	女									
通所	男									
	女									

40～49歳			50～59歳			60～69歳			70歳以上			計
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
												人

(4) 入所申請者の平均待機期間

区分	平均待機期間(月数)
入所	平均(月)
通所	平均(月)

(5) 入退所時の障害程度区分

障害程度区分	入所時	退所時
A		
B		
C		
計	人	人

(6) 施設利用者の退所時の状況

【調査票の記入要領】を参考に、「別紙：退所時の状況(個別票)」に記入して下さい。

(7) 現在の施設利用者で利用が長期化(概ね2年以上)している方について

① 現在の施設利用者で利用が長期化している方は、どのくらいいますか。

	入所者	通所者
男		
女		
計	人	人

②「入所」している方で利用が長期化（概ね2年以上）している理由（複数回答可）

項 目		人 数
主として本人の希望によるもの	施設での生活を望んでいるため	人
	高度の訓練や治療を望んでいるため	
	その他	
主として本人の希望とは異なる 要因によるもの	本人の訓練状況や医学的治療が進まないため	
	他施設での受入れ態勢が整わないため	
	家庭での受入れ態勢が整わないため	
	地域でのサービス基盤が十分ではないため	
	その他	

* 記入要領の例示を参照して記入して下さい。

(8) 貴施設において、入所申請者に対しサービス提供を断ったことがありますか。

はい ・ いいえ

「はい」の場合、その理由を記入して下さい。

3 施設支援サービスについてお聞きします。

- ① 病院が併設されている はい ・ いいえ
- ② 常勤の医師がいる はい ・ いいえ
- ③ 地域への訪問サービスがある はい ・ いいえ
- ④ 家族の宿泊設備がある はい ・ いいえ
- ⑤ 家族等への支援プログラムがある はい ・ いいえ
- ⑥ 通所者への送迎サービスがある はい ・ いいえ
- ⑦ 退所後の後支援サービスがある はい ・ いいえ
- ⑧ その他（上記以外のサービスがある場合は以下に記入して下さい）

②「入所」している方で利用が長期化（概ね2年以上）している理由（複数回答可）

項 目		人 数
主として本人の希望によるもの	施設での生活を望んでいるため	人
	高度の訓練や治療を望んでいるため	
	その他	
主として本人の希望とは異なる 要因によるもの	本人の訓練状況や医学的治療が進まないため	
	他施設での受入れ態勢が整わないため	
	家庭での受入れ態勢が整わないため	
	地域でのサービス基盤が十分ではないため	
	その他	

*記入要領の例示を参照して記入して下さい。

(8) 貴施設において、入所申請者に対しサービス提供を断ったことがありますか。

はい ・ いいえ

「はい」の場合、その理由を記入して下さい。

3 施設支援サービスについてお聞きします。

- | | | | |
|----------------------------------|----|---|-----|
| ① 病院が併設されている | はい | ・ | いいえ |
| ② 常勤の医師がいる | はい | ・ | いいえ |
| ③ 地域への訪問サービスがある | はい | ・ | いいえ |
| ④ 家族の宿泊設備がある | はい | ・ | いいえ |
| ⑤ 家族等への支援プログラムがある | はい | ・ | いいえ |
| ⑥ 通所者への送迎サービスがある | はい | ・ | いいえ |
| ⑦ 退所後の後支援サービスがある | はい | ・ | いいえ |
| ⑧ その他（上記以外のサービスがある場合は以下に記入して下さい） | | | |

(2) 他府県の利用者の受入れ枠がありますか。 　　　　　ある ・ ない
 「ある」場合は、人数又は定員割合を記入して下さい。 (　　人) / (　　%)

4 貴施設が直面している問題及び今後の更生施設の方向性についてお聞きします。

(1) 貴施設が直面している問題は何ですか。該当するものに○を付けて下さい。

項 目	記入欄
① マンパワーの確保	
② 職員の資質向上	
③ 施設申請者の減少	
④ 国の施設の設置運営基準では施設サービスに限界がある	
⑤ 施設設備の老朽化	
⑥ 施設利用者の高齢化と障害の重複化	
⑦ その他（上記以外にあれば御記入下さい）	

(2) 平成14年12月に策定された「障害者基本計画」には「施設サービスの再構築」「入所者の地域サービスへの移行の促進」が盛り込まれています。具体的には、障害者が地域で生活できるよう現在の施設サービスや施設機能の抜本的な見直しを行うことが明記され、平成24年度までに障害者施策の基本的方向を定めることとなっています。

障害者の地域生活を支えるために、今後、更生施設はどのようなサービスを提供し、どのような機能を持つことが必要か、更生施設自体の必要性等も含めて御意見やお考えを記入して下さい。また、貴施設の方向性について、現に検討中のものがあれば参考までに御教示願います。

[Empty rectangular box]

施設名 _____

住 所 〒 _____

TEL _____

FAX _____

記入担当者（問い合わせ先） _____

(別紙)

退所時の状況(個別票)

1 個人情報

* 必要事項を記入し、該当する欄に○印を付けて下さい。

番号	性別	年齢	単身・世帯別	障害程度区分	手帳等級	入所・通所別
	男・女	歳	単身・世帯	A・B・C	級	入所・通所

2 退所後の行き先

【施設入所の場合】

【在宅生活の場合】

【病院の場合】

施設種別	更生施設入所	生活施設入所	作業施設入所
記入欄			

内容	就職	在宅勤務	自営	通所型施設利用	施設入所待機	就職活動	その他
記入欄							

入院種別	急性期病棟入院	慢性介護型病棟入院
記入欄		

3 退所時に申請した居宅支援サービス

退所時に申請した居宅支援サービスの種類	支援費制度	①ホームヘルプ(ガイドヘルプも含む)	記入欄
		②デイサービス	
		③ショートステイ	
		④グループホーム	
	介護保険制度	①ホームヘルプ(訪問介護)	
		②訪問入浴	
		③訪問看護	
		④訪問リハビリ	
		⑤デイサービス(通所介護)	
		⑥デイケア(通所リハビリ)	
		⑦居宅療養管理指導(往診)	
		⑧短期入所生活介護	
		⑨短期入所療養介護	
		⑩痴呆性高齢者グループホーム	
		⑪特定施設入所者生活介護	
	⑫福祉用具の貸与・購入費支給		
	⑬住宅改修		
	その他		